

事業所名

一般社団法人TMY コロンコロン

支援プログラム

作成日

R6 年

10 月

17 日

法人（事業所）理念		お子さんが将来自分らしく生活していくことができるように関わります。芽生えている発達を理解しやすい課題として提供し「できた」という成功体験を積んでいくことや社会の暗黙のルールや対人関係についても学んでいくことができるようにしています。ご家族と協働し、共に悩み考えながら前に進みます。						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さんの興味、関心を取り入れ楽しく学びます。</li> <li>・PDCAサイクルを取り入れ、今必要な課題に取り組みます。</li> <li>・児童発達支援事業所でできたことを家庭や園に般化します。</li> </ul>						
営業時間		8 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善、生活リズムや生活習慣の形成、基本的な生活スキルの獲得をする。健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。その際、意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう、きめ細やかな観察を行う。身の回りを清潔にし、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援する。生活の中で、さまざまな遊びを通して学習できるような環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。						
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上・姿勢と運動・動作の補助的手段の活用・保有する感覚の総合的な活用 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など、様々な補助用具等の補助的手段を活用してこれらができるように支援する。感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。						
	認知・行動	認知の発達と行動の習得・空間・時間、数等の概念形成の習得・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する。物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する。数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行う。認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮する。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。						
	言語 コミュニケーション	言語の形成と活用・言語の受容及び表出・コミュニケーションの基礎的能力の向上・コミュニケーション手段の選択と活用。 具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。発達障害の子どもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。						
	人間関係 社会性	人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援する。感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援する。						
家族支援		日常生活の中で困っていることや悩んでいることについての相談援助。きょうだいとの関係や生活の仕方についてのアドバイス。年に2回家庭訪問を行い特性の共通理解や関わり方、今後の方向性を話します。			移行支援		進級、転園など生活や学びの場が変化する時の情報交換。移行支援会議。	
地域支援・地域連携		ご家族が関わる機関（相談支援事業所、病院、園、など）と連携し、情報交換や情報提供を行う。必要な地域資源については、市や社会福祉協議会に相談する。			職員の質の向上		事業所内研修、勉強会 外部機関による専門研修 地域研修	
主な行事等		親の会、避難訓練						